

賀川豊彦の貧民救済活動顕彰

9月、韓国でフォーラム

▲▲ 評伝翻訳の金牧師企画

国際的な社会運動家・賀川豊彦を顕彰するフォーラムが、九月に韓国ソウル市で開かれる。著書に賀川の評伝がある林啓介さん(七五)は鳴門市大麻町板東、阿波の歴史を小説にする会会長にもパネリストとして参加する。世界的な経済危機で韓国でも貧富の差が拡大。賀川が貧民救済活動を始めて百年目に当たる今年、その活動や思想に学ぶところが多い、と企画された。

四日、フォーラムを主催がパネリストを務める。社する韓国キリスト教会牧師 会運動家や牧師約六十人をの金在一さん(五〇)が来県。招待。一般にも参加を呼び鳴門市の賀川豊彦記念館 掛け、百人規模の会にする。林さんと打ち合わせをする。

六月四日
フォーラムに先立ち、(五)月下旬、教会の研修旅行の一環で牧師ら約四十人と再来県。大麻町にある賀川の

金さんによると、フォーラムでは林さんのほか、韓国の経済学者や教育関係者



打ち合わせで来県した金牧師(右)と握手する林さん
鳴門市の賀川豊彦記念館

「文化交流深めたい」

原作者 林さん
墓参りの後、記念館で展示物を見学し、研究者やゆかりの人と意見交換をする。金さんは昨年、神戸市の賀川記念館で出合った林さんの著書を韓国語に翻訳し出版したばかり。賀川のことは韓国ではあまり知られていないという。社会が不況にあえぐ今、賀川の「友愛の精神」を広め、苦境を乗り越えていくこと、フォーラムや研修旅行を企画した。林さんは「賀川の考え方はどこでも通用する。賀川を通し文化交流を深めたい」と話している。